

崎山下毅 （此の著者） 評論家。明治二十八年八月十六日大阪生れ（一九〇三）。大正十二年藤澤稻生大、小野千二郎、兄崎山猶逸等と同人雜誌『傾斜市場』を、翌年『辻馬車』を發刊、のち『文藝都市』に参加して小説を發表。昭和二年東京帝國大學文學部英文学科卒。大阪中央放送局長、NHKヨーロッパ總局長・國際局長等歴任。譯著書『マンズフィールド短篇集』（譯、昭和九年八月二十日岩波書店「岩波文庫」）、『ヂョーヂ・ムッ作の一青年の告白』（譯、昭和十年十月五日岩波書店「岩波文庫」）、『國語文化講座・第二卷・國語教育篇』（合著、昭和十六年九月二十日朝日新聞社）、『停年の設計』（合著・梅原麟太郎編、昭和二十二年十月一日有紀書房）、『マンズフィールド短篇集』、『幸福・園遊会他十七篇』（伊沢龍雄共訳、昭和四十四年二月十七日岩波書店「岩波文庫」）等。

